

広島市植物公園 見どころ案内

ヤマアジサイ

(アジサイ科)

小ぶりで可憐な花を咲かせるヤマアジサイが、アジサイより一足早く見頃を迎えつつあります。

展示会のご案内

◇屋外展示場(5/30~6/21)

アジサイ展

◇展示温室(5/30~6/11)

セントポーリアとイワタバコの仲間展

◇展示資料館

初夏の小品盆栽展(6/6~6/8)

むし・花・Zoo-Zoo 写真展(6/10~8/6)

ミヤコワスレ (キク科)

ミヤマヨメナを改良した春咲き野菊の園芸種。濃い紫や淡い青の花が群生して、風情があります。近くのモミジの枝にはモリアオガエルの白い泡状かたまり(卵のう)が付いています。

フェロカクタス(サボテン科)

強刺類と呼ばれる太く硬いとげを持つグループ。黄彩玉などの品種が花を咲かせています。近くのウチワサボテンでも花を見ることが出来ます。

グラマト

フィルム・

キナバルエンセ

(ラン科)

マレーシアの最高峰キナバル山に自生する珍しいラン。世界最大のラン「タイガーオーキッド」と同じなかまです。

ヒスイカズラ

カカオ

ベニノキ (ベニノキ科)

熱帯アメリカ原産。名前の通り、赤い種子からは染料(アナー)が取れ、口紅や食紅に用いられます。オレンジ色のCHEDDARチーズにはこの色素が使われています。

赤い大階段

広島のカープ(鯉)をイメージして、大温室までの階段をラッピングした2種類の赤いベゴニアで修景しました。正面入口の花壇も鳥居や文字など、様々に形作っているので、じっくりとご覧ください。

ハナショウブ (アヤメ科)

植物公園では合計120品種1000株のハナショウブをお楽しみいただけます。現在、江戸系、肥後系など様々な品種が咲き始め、見頃を迎えつつあります。

ブラシノキ (フトモモ科)

オーストラリア原産。洗ピンブラシのような形をした鮮やかな赤色の花が咲いています。ブラシの毛に見える部分はおしべの花糸という部分です。

ヤマボウシ (ミズキ科)

ハナミズキの近縁種で、初夏に白い花を咲かせます。新緑が美しく、実も楽しめることから庭のシンボルツリーとしてもよく利用されます。

ハシドイ (モクセイ科)

香りの小路にて目線を少し上げると、真っ白なハシドイの花がこぼれんばかりに咲いています。

